



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人／高田 勝之

vol.104

2014.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

第60回定期総会開催！ 60年の節目 勤労者福祉向上を再確認！

5月28日、第60回定期総会を、ワークプラザ岐阜の5階大ホールにおいて開催しました。

高田会長は冒頭の挨拶で、会員並びに関係団体に対して1年間の活動に対するお礼を述べられた後、労福協活動の重要性と新年度への取組みについて決意を述べられました。続いて来賓である岐阜県の渡辺労働雇用課長、岐阜市の伏屋商工観光

部長、連合岐阜舟口会長、そして全労済豊田県本部部長からご祝辞を頂きました。

総会では清水事務局長より2013年度の活動報告、決算報告が提案され、引き続き2014年度の活動方針（案）、予算（案）が提案され全会一致で承認されました。



高田会長



岐阜県渡辺課長



岐阜市伏屋部長



連合舟口会長



全労済豊田本部長

2014年度の重点項目

1. 東日本大震災の被災地支援活動を、中央労福協など関係団体と連携して進めます。
2. 「勤労者球技大会」「勤労者文化講演会」「ライフプランセミナー」など文化・体育活動の充実を図ります。
3. 協同事業の利用促進にむけて、労働福祉事業団体と労働組合の連携を強化します。
4. 貧困、多重債務のない社会に向け、中央労福協、関係団体と連携し社会運動に取り組めます。
5. 「ライフサポートセンター」の取組み強化に向けて、積極的に支援して行きます。
6. 県労福協設立60周年の記念事業について、専門委員会で検討し実施します。

中央労福協全国研究集会

6月5日～6日 長崎市で開催！

全国研究集会が長崎市内で開催され、全国から約250名の関係者が参加した。

今年のメインテーマは「労働運動と協同組合運動が結ぶ連帯社会への可能性」と題して講演を中心に行われた。1日目は早稲田大学の篠田教授の講演とライフサポートセンター事業の検証として、新潟と山形の各労福協から現状と課題について報告がされた。2日目は日本女子大学の高木名誉教授の講演と事業団体の代表者によるパネルディスカッションが行われ閉会となった。



岐阜支部定期総会

第52回定期総会は、6月16日に「ワークプラザ岐阜」において、県労福協の内藤副会長を招いて開催された。2013年度の活動総括と2014年度の方針・活動計画・予算の諸議案を審議し満場一致で承認された。活動の基本は①会員拡大と体制の充実、②各事業団体の基盤強化、③勤労者の生涯福祉の実現、④地域福祉の向上と実現、⑤働く人達やその家族に愛される活動の展開、⑥社会貢献活動及び教育活動の推進などを掲げ、これらに対する具体的な活動内容が承認された。最後に役員改選があり、県支部長以下全役員が承認された。



中恵支部定期総会

労福協中恵支部の2014年度定期総会は6月18日(水)に中津川市の「東美濃ふれあいセンター・リハーサル室」に於いて開催した。来賓として岐阜県労福協高田会長、中津川市商工観光部成瀬部長、全労済東濃支所平井支所長、顧問議員団からご挨拶をいただいた。総会では2013年度の総括と2014年度の方針・活動計画・予算・役員改選を審議し満場一致で承認された。労働組合や事業団体(労金・全労済)が労働者の暮らしを守る中心的組織として「人と暮らし、環境にやさしい福祉社会の実現」に向けて活動することを確認した。



飛騨支部定期総会

労福協飛騨支部の定期総会が6月25日に「ろうかん」において役員・会員代表者19名の参加により開催されました。小井戸支部長の挨拶の後、県労福協の清水事務局長より激励の挨拶をいただきました。

総会では2013年度活動報告、決算報告ともに承認され、2014年度の活動方針、予算も全体の賛成で確認されました。活動方針ではこれまでも取り組んで来ている弁護士・税理士・行政書士による「なんでも相談会」、開設から5年目を迎えた「勤労者サポートセンター事業」といった相談業務の充実を図るとともに、スポーツ大会等を通じて労働者福祉活動の充実に向けて取り組みをすすめることが確認されました。



西濃支部定期総会

6月30日18:30よりソフトピアジャパンにおいて第53回総会を開催した。今回は議長にUAゼンセン、ドラックユタカユニオンの近藤桃子代議員を選出し、初の女性議長での進行となった。冒頭、堀議長は社会情勢を含めた勤労者の生活について、消費税の増税を含め厳しさが増していること、そんな中、労福協の活動に必要性が高まり、会員各位の協力も必要であるとあいさつ。その後来賓で県労福協の清水事務局長に県の活動の紹介を合わせたあいさつをもらった。議事に入り報告事項と、2014年の活動方針(案)、予算案を審議し、全会一致で可決した。最後に労働者の立場は依然と厳しく、東海ろうきん、全労済と協力し「人と人との絆を強め支え合う共助の輪」を広げていくことを確認した。



中濃支部定期総会

定期総会は6月30日(月)に「KYB労働組合研修センター」において開催した。日江井支部長による挨拶の後、来賓として県労福協の高田会長に挨拶を頂いた。その後、2013年度の総括と2014年度の活動方針、活動計画等の緒議案を審議し、満場一致で承認された。

14年度の活動の基本は①代表者会議・幹事会等を適時開催し、支部活動の確実な運営を行う ②支部体制の強化と働く者の団結を高めるため加盟会員の拡大に努める ③多くの会員が参加できるよう行事の企画を検討する ④県労福協の諸活動へ参加し連携を強化する ⑤協同事業団体活動に対し積極的に取り組む事を掲げた。昨年からの輪番制により役員が変更となったが、幹事会等を活発に実施し労福協活動の更なる活性化を図っていく。



土岐支部定期総会

労福協土岐支部の2014年度第60回定期総会は、7月4日(金)土岐市の「セラトピア土岐」において開催した。冒頭、佐々木支部長が挨拶した後、来賓の佐藤副会長様より県労福協の勤労者福祉活動についての挨拶を頂戴した。その後2013年度の活動の総括と2014年度の活動方針や役員変更等の諸議案を審議し、満場一致で承認された。最後に今後も労働福祉事業団体との連携を密に図り、今後は「新たな10年に向けて具体的な活動方針」に沿って、消費者対策などの社会的運動も精力的に展開していくことを全員で確認した。



東海労金通常総会

6月24日(火)ウインク愛知において、東海労働金庫の第14回通常総会は、愛知・岐阜・三重各県から多数の代議員が出席して開催された。飯田理事長は次期システムR1移行お礼と新年度の取組みの挨拶をされた。議案は、第14期剰余金処分案と平成26年度事業計画及び収支計画案が提案され、全議案が承認された。

東海労働金庫第14回通常総会



全労済岐阜県本部総代会

7月31日(木)ワークプラザ岐阜において全労済岐阜県本部第5回代表者会議及び岐阜労済第56回通常総代会が、県下各地より多くの総代が出席して開催された。

豊田県本部長の挨拶に続き、2013年度事業報告・決算報告と2014年度事業計画・予算案が提案され承認された。

労働者共済生活協同組合 第56回 通常



国際協同組合デー

国際協同組合デーは、全世界の協同組合員が心をつなげて協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために運動の前進を誓いあう日で、毎年7月の第1土曜日と定めています。

岐阜県では、7月3日（木）岐阜市のホテルパークにおいて、「協同組合を考える集い」を開催しました。

参加団体は、JA岐阜の関係団体・県酪農組合・県森林組合・岐阜生協連と岐阜労福協・東海労金・福祉センター・全労済で、参加者は120名でした。

集会は、最初に岐阜大学の新井教授から「岐阜県の協同組合間提携活動の歩み」について報告があり、続いて各参加団体の若手職員5名が「協同組合の仕事と自分の役割」について発表されました。最後に名古屋市立大学の向井教授が「協同組合を見つめ直す」をテーマに講演されました。

一年に一度の集会でしたが、参加した協同組合間の交流もあり、相互理解を深める貴重な機会でした。



電話
無料相談

勤労者のなんでも相談所

親の介護や子育てなど家庭の事、職場の人間関係や残業や休暇など仕事の事、借金や病気の事など、あなたが抱える問題は、多くの人にとって共通する事かもしれません。気軽に電話して下さい。

ライフサポートセンターぎふ
058-214-7300



爽やかな秋空の中、
森の中を散歩しませんか
インストラクターがご案内します！

森林浴セミナー 参加者募集

◎10月18日（土）
文殊の森（本巣市）

◎11月15日（土）
月見の森（海津市）

詳細については、上記のライフサポートセンターにお電話ください。

勤労者球技大会

地区大会参加チーム募集

※地区大会の日程等は各支部に問い合わせ下さい。



ソフトボール大会

地区大会の優勝・準優勝チームが県大会へ出場。
県大会の開催日は、10月19日（日）

ボウリング大会

地区大会の優勝・準優勝、三位までが県大会へ
出場。県大会の開催日は、11月9日（日）